

兵庫県パリ事務所

HYOGO REPRESENTATIVE OFFICE IN PARIS

～フランスでは大規模な国際展示会が再開されています～

世界中を混乱に陥れているコロナ禍は、フランスでもまだ完全に克服されていません。しかし、ワクチン接種が進化した結果（9月27日時点で人口の約70%が2回接種済み）、最近では新規感染者数や入院者数が低く抑えられています。こうした感染状況の改善を背景に、昨年に延期・中止された国際見本市が徐々に再開されています。当事務所の最近の活動と合わせて紹介します。

「Who's Next」

毎年9月と1月にパリで開催される女性向けファッションの見本市です。今年1月は感染拡大により中止となりましたが、この秋は9月3日～6日の4日間、大型展示施設「ポルト・ド・ヴェルサイユ」で開催されました。

会場では、入場時の衛生パス（ワクチン接種が完了していることを証明する書類）の確認とマスク着用が義務付けられましたが、数多くのブースを目当てにたくさんの来場者でにぎわっていました。各ブースは趣向が凝らされ、服や鞆、雑貨、ジュエリー等、幅広い商品が並んでいました。日本関連の商品を取り扱うブースも散見されましたが、残念ながらその数はごくごく限られていました。やはり、日本からの渡航はまだハードルが高いようです。

また、場内のステージではデザイナー等の講演が行われ、こちらは満員の人気となっていました。



会場の様子。フランスでは大型展示会が順次再開されています



着物を扱うブースも。こちらはフランスのメーカーが製造した商品とのこと

「シラ国際外食産業見本市（SIRHA2021）」

「美食の街」として有名なフランス東部のリヨンで2年に一度開催される世界最大級の外食産業見本市です。「SIRHA2021」は今年1月の開催予定でしたが、コロナ禍の影響で8カ月延期され、9月23日～27日に開催され

ました。今回は3,770社が出展し、約22万5,000人の来場者を記録。今回も多くの人でにぎわっていました。

日本食材を扱うブースはいくつも出展されていましたが、軒並みフランス事業者による運営でした。帰国後に隔離期間が必要となるため、フランスへ出張された日本の事業者は少なかったようで、日本とオンラインで商談する姿が見られました。また、エントリー後に出品を見送ったのか、所々に未開設のブースもありました。

それでも日本食材のブースには、あちらこちらで人垣ができていました。ブース担当者からは「予想を上回る来訪者で人手が足りない」とうれしい悲鳴も聞かれ、フランスにおける日本食人気の高さがうかがえました。



SIRHA2021の会場前でも、衛生パスのチェックが実施されました

当事務所では日本商品専門店を紹介

フランスでの日本人気は大変高く、パリにある当事務所の周辺にはラーメンやたこ焼き、たい焼き等の軽食店、日本食レストランがたくさんあります。また、日本食材の専門店も複数あります。

最近では、日本商品の専門店がパリ以外の地方都市にも増えてきました。当事務所では各地の店舗を訪問し、兵庫県産品を紹介しています。時には「こんな商品が兵庫県にあれば、ぜひ取り扱いたい」と相談を頂くことも。その際は、ひょうご海外ビジネスセンターのメーリングリストを活用し、会員企業の皆さまに相談させていただきます。ヨーロッパでの販路拡大に関心がありましたら、どうぞご連絡ください。



今年7月にはフランス南西部の主要都市、トゥールーズにある日本商品専門店を訪問しました

兵庫県パリ事務所（HYOGO REPRESENTATIVE OFFICE IN PARIS）

10, rue de Louvois, 75002, Paris FRANCE

TEL +33-(0)1-4297-4282 FAX +33-(0)1-4297-4292 E-mail hyogo-europe@wanadoo.fr